2015.9 広島大学馬術部発行



Cavallo vol.25

清祀

vol.33





夏季中四国地区学生馬術大会 蒜山ホースパークランドにて(2015.8.21~24)

* 2015.8.21~23 に行われた夏季中四国地区学生馬術大会で、見事総合優勝を 果たしました。併せて、最優秀馬に清麗号が選ばれました。

*2015.9.11~13 に 4 名の選手が全日本学生選手権大会に出場しました。



目次

ご挨拶	2
部誌によせて	3
Cavallo	
一年間の活動報告	4
年間行事	4
大会成績	
笠置建築活動報告	8
プロフィール	9
馬プロフィール	9
部員プロフィール	17
部員のコメント(4 年)	
部員のコメント(1 年)	26
特集	29
馬術部主将の一日	29
馬術部川柳	30
馬術部員にアンケートしてみました!	31
清祀	
ご挨拶	34
<田部百之介名誉監督追悼特集>	42
<清祀会コラム>	52
今 計起生	EO
会計報告	
編集後記	54

ご挨拶

監督 木内啓司

清祀会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今夏は、本当に色んな出来事がありました。この度の部誌を通じて、会員の皆様に少しでも様子を伝えられたら、と思います。

まず、おかげさまで今夏も夏季大会での総合優勝を果たし、全日学に4人の選手と3頭の馬が駒を進めました。指導者部員が一致団結し頑張った成果であり、目標としている『国立大学NO.1』も視野に入ってきました。今後、さらに良いご報告ができますよう、しっかりとトレーニングに勤しみます。

そして、私たち広島大学馬術部の礎を築いてくださった田部百之介名誉監督が、ご逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。今回、『田部百之介名誉監督追悼特集』と銘打ち、多くの関係者の皆様からの思いをメッセージとしてまとめました。心を込めて天国の田部名誉監督へ送りたいと思います。

名誉監督が創部された馬術部も、いよいよ再来年の平成 29 年に創部 60 周年を迎えることとなります。これから、記念誌やイベントの準備を本格化してまいりますので、是非、節目の年には広大馬術部をご訪問ください。

また、今秋の全日学は、東京は世田谷の JRA 馬事公苑にて開催されます。その後、東京オリンピック開催準備に入るため、当面の間は馬事公苑での開催はできません。こうしたことから、今回は景政終身顧問も上京され、10月31日(土)に関東支部懇親会が開催されますので、会員の皆様には奮ってご参加いただければと思います。詳しくは別紙『寄付のお願い』文書に記載しております。

最後になりますが、相変わらず会計面での課題を抱えながら、部員たちは日々、馬の世話やトレーニングに励んでおります。会員の皆様にはお願いばかりで恐縮ですが、苦労を重ねつつ、なんとか自分たちの力で部を健全運営しようと努力している部員たちを、様々な面で支援してやってください。心よりお願い申し上げます。



夏季大会祝勝会にて(平成27年9月19日 於西条ハクワホテル)

部誌によせて

部長 小櫃剛人

スーパーマーケットなどでバター入荷待ちという状況を、最近、目にされた方もおられると思う。その原因は、日本の酪農に携わる農家の方や、乳牛の頭数が減少し、国内全体の牛乳生産量が減少傾向にあることが一因とされている。政府としても、このような状況を打開しようと、農業の中でも酪農の生産力向上に力をいれている。そのため、私の専門分野であるウシの研究でも、いろいろな方々と共同研究する機会が多くなった。その中でも、同窓の方とか、遠い昔に知り合った方とか、学生時代の先輩・後輩とか、かなり以前につながりのあった方々と、偶然かもしれないが、糸がたぐり寄せられるように関係が再築されることがあり、そんな時は感慨深い気持ちになる。それらの方々の多くはそれぞれの分野で重要な役割を担う立場になっている。例えば、大学時代のある先輩は、中国の重点大学の教授として畜産学をリードしていて、思いかげず国際的なつながりも得られるようになった。学生の時には将来のことはまったくといってよいほど見えておらず、こんな方向に進みたいという気持ちを抱いていただけのように思うが、その頃のつながりが今になって生きてこようとは思いもよらないことであった。

2年後に60周年を迎える広島大学馬術部においても、卒業生から現役学生まで、たてよこななめの強いつながりがあります。予期せぬところで、そのつながりが活かされる時がそれぞれの人生の舞台できっとあると思います。



教授昇進、おめでとうございます! (平成 27 年 7 月 11 日)

一年間の活動報告

年間行事

4月

入学式・新勧イベント・ ホースフェスティバル



5 月

新勧イベント

6 月

広島県民馬術大会・岡山県ホースショー



7月

新歓コンパ・ 西条農業高校との 交流試合



8月

夏季中四国学生馬術大会



9月

全日本学生馬術選手権・ 女子選手権・祝勝会

10月

キッズ乗馬教室・ 全日本三大馬術大会

11月

全日本学生三大馬術大会・ 大学祭体験乗馬・藤田杯・講習会

12月

新人戦

1月

初乗り会・新年会

2月

前期入試

3 月

合格発表・春季中四国学生馬術大会・ 追い出しコンパ









第 2

第29回夏季中国•四国地区学生馬術大会 成績

8月21日(金)~8月23日(日)

会場:蒜山ホースパーク

清盛

※()内はその競技の参加人数です。

※各競技 1 位から 3 位までの成績と、広島大学の学生の成績を掲載しています。また、広島大学の学生の成績には、_____を引いています。

第1競技 学生賞典馬場馬術競技(5)

- 1. 古本拓也 カイテキ Z 岡山 56.342%
- 2. 大上あすみ 清麗 広島 53.333%
- 3. 城戸友博 ミッキーボンバー 広島工業 50.833%
- 4. <u>黒澤明莉 清熊 広島 48.055%</u>
- 5. 佐々木やまと 清悠 広島 47.638%

第2競技 学生賞典複合馬術競技(10)

- 松永赳尭 清虎 広島 (馬場減点 61.1 障害減点 2 総減点 63.1)
- 2. <u>北山大貴 清将 広島</u> (馬場減点 65.2 障害減点 12 総減点 77.2)
- 肥田大雅 クー 岡山
 (馬場減点 79.5 障害減点 0 総減点 79.5)
- 4. <u>田原千聖 清麗 広島</u> (馬場減点 62.5 障害 21 総減点 83.5)
- E <u>住田大亮 清隼 広島</u> (馬場減点 75.2 障害 E)
- E <u>大上あすみ 清姜 広島</u> (馬場減点 72.2 障害 E)

第3競技 馬場馬術競技 L1 課目(13)

- 1. 松永赳尭 清虎 広島 56.264%
- 2. 北山大貴 清悠 広島 55.862%
- 3. 高田舞佳 旭悠 岡山理科 55.115%
- 5. 藤井啓右 清熊 広島 53.448%
- 13. 田原千聖 清悠 広島 48.505%

第4競技 馬場馬術競技 A4課目(13)

- 1. 高岡健太 ハルシオン 山口 55.543%
- 2. 米谷まり 清麗 広島 55.325%
- 3. 高田舞佳 カイテキ Z 岡山理科 53.912%
- 8. <u>宮川慧 清姜 広島 51.630%</u>

第5競技 馬場馬術競技 A3課目(10)

- 1. 渡邊悠 デルモスター 島根 61.195%
- 2. 二井岡友美 清熊 広島 59.999%
- 3. 佐藤綾香 伯憐 松山 57.282%

第6競技 馬場馬術競技 A2 課目①(9)

- 1. 山下眞由 Jupiter 岡山 58.529%
- 2. 永田莉香子 チーフシャトー 鳥取 54.558%
- 3. 山本楓子 トライアド 島根 53.529%

第6競技 馬場馬術競技 A2 課目②(8)

- 1. 石川陽子 伯憐 松山 62.499%
- 2. 古石綾加 Jupiter 岡山理科 59.852%
- 3. 高崎春奈 オラフ 鳥取 59.705%

第7競技 学生賞典障害飛越競技(8)

- 1. 入道陽香 クー 岡山 61.51 0
- 2. 高木克浩 ノベルティー 岡山理科 64.21 12
- 3. 北山大貴 清将 広島 70.25 16
- 4. 松永赳尭 清虎 広島 96.89 22
- E 大上あすみ 清姜 広島

第8競技 小障害飛越競技 A(11)

- 1. 大上あすみ 清麗 広島 50.50 0
- 2. 高瀬翔平 旭晃 岡山理科 58.68 0
- 3. 住田大亮 清将 広島 64.56 2
- 6. <u>宮川慧 清姜 広島 62.81 5</u>
- 8. 藤井啓右 清将 広島 49.01 8

第9競技 小障害飛越競技 B(13)

- 1. 米谷まり 清麗 広島 46.35 0
- 2. 永野聖也 鶴千 広島経済 46.84 0
- 3. 永野聖也 鶴斑 広島経済 47.62 0
- 5. 佐々木やまと 清姜 広島 52.13 0
- 7. 宮川慧 清虎 広島 47.69 4
- 11. 黒澤明莉 清虎 広島 46.27 8
- E <u>藤井啓右 清隼 広島</u>

第10競技 小障害飛越競技 C(26)

- 1. 米谷まり 清隼 広島 32.95 0
- 2. 山本貴士 オラフ 鳥取 35.10 0
- 3. 黒澤明莉 清麗 広島 35.47 0
- 4. 二井岡友美 清麗 広島 35.60 0

第11競技 小障害飛越競技 D(23)

- 1. 中村真菜 チーフシャトー 鳥取 35.83 0
- 2. 佐藤綾香 伯凛 松山 36.83 0
- 3. 山本貴士 チーフシャトー 鳥取 37.59 0

第12競技 小障害飛越競技 E(12)

- 1. 古泉明里 鶴千 広島工業 41.23 0
- 2. 佐古壮一朗 史雲 愛媛 42.17 0
- 3. 山本楓子 トライアド 島根 46.69 1

第13競技 クロス競技(12)

- 1. 佐藤綾香 伯燐 松山 36.26 0
- 2. 林亮介 鶴昇 広島工業 36.34 0
- 3. 田邊 千香子 伯燐 松山 37.74 0

第14競技 スラローム競技(33)

- 1. 小野雅希世 鶴昇 広島工業 30.59 0
- 2. 新里晴香 鶴鳴 広島工業 31.24 0
- 3. 柿林沙希 鶴鳴 広島工業 33.18 0

- 6. 加藤大輔 清姜 広島 40.92 0
- 7. 藤本美加 清虎 広島 42.38 0
- 8. 天野翠 清熊 広島 42.71 0
- 10. <u>岩室徳成 清麗 広島 46.66 0</u>
- 11. <u>高橋梨花 清姜 広島 52.23 0</u>
- 15. 石橋愛実 清隼 広島 54.63 0
- 16. 芹田あきほ 清熊 広島 56.66 0

団体成績

- 1. 広島大学 128(内団体ポイント 30)
- 2. 岡山大学 43.5
- 3. 岡山理科大学 24

個人成績

- 1. 松永赳尭 22 ポイント
- 2. 北山大貴 17
- 3. 大上あすみ 15
- 4. 米谷まり 15
- 10. 田原千聖 8
- 12. 黒澤明莉 6
- 13. 佐々木やまと 6
- 17. 住田大亮 4
- 25. 藤井啓右 2
- 26. 二井岡友美 2
- 32. 宮川慧 1

清煎

馬匹成績

- 1. 清麗 36 ポイント
- 2. 清虎 22
- 3. 清将 16
- 7. 清熊 9
- 8. 清悠 9
- 21. 清姜 3
- 21. 清隼 3



業務拡大につき社員大募集!

可愛い馬たちと一緒に働いてみませんか!

《仕事》障害作成など馬術部に関する依頼を可及的 速やかに解決するお仕事です。

《資格》学歴年齢不問、熱意のある方大歓迎!

《給与》歩合制(ナフコポイントにて支給)

《時間》日の出から日の入りまで(残業あり) 休日 依頼の無い期間全般

《実績》障害用詰め物作成(十数種)、バー補修、 各馬房に岩塩入れの設置 etc.



履歴書不要。即日勤務できる方大歓迎 あなたの力が必要です!



■馬術部の未来を応援する

(有) 笠置建設

☎0120-○○○-×××(採用係:住田)

プロフィール

馬プロフィール

名前:清麗(せいれい)

あだ名:チャコ、チャコピー、麗ちゃん

毛色/性別:葦毛/牝

年齢:16歳

現主担当:田原

夏大会でのエントリー:

・学生賞典馬場

・学生賞典複合

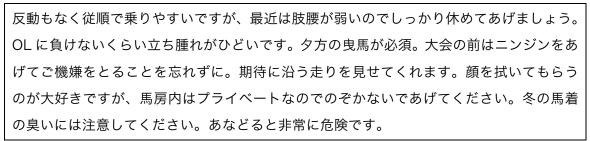
・A4 課目

・トレーニング A

・小障害 A・B・C

・スラローム

*清麗の取扱い



競走馬名	オミゴトデス	父ゴールデンフェザントはアメリカのGIアーリ
父	ゴールデンフェザント	ントンミリオンステークスや日本最高峰のGIジ
母	マイコマドンナ	ャパンカップを勝利した名馬。本馬はデビューし
生涯獲得賞金	216万円	て暫くの間、北海道の地方競馬に出走。8戦して
生涯成績	12戦1勝2着1回	1勝2着1回の成績をあげて、中央競馬に参戦し
		たが、全4戦とも力及ばずそのまま引退となった。
主な勝ち鞍	アタックチャレンジ	馬主は"珍名馬"(本馬もその一頭であるが)を所有
		することでよく知られている小田切有一氏。所属
		は栗東の名門、音無秀考厩舎であった。



名前:清隼(せいしゅん)

あだ名:リド、リドっち

毛色/性別: 栗毛/セン

年齢:15歳

現主担当:住田

夏大会でのエントリー:

・学生賞典複合

・トレーニングA・C

・小障害 B・C

・スラローム

*清隼の取扱い



速歩での反動が大きく、やる気のない時は動きません。咬癖・さく癖があり、ストレスを 溜めやすいので仮厩舎で勝利(ポニー)と一緒に隔離されています。口かごが面倒なんて 言わないであげてください。ビビりな一面もありますが最近は大分ましになったので、こ の調子でいきましょう。人間は嫌いなようですが、勝利や他の馬とは馬添えが良く、馬房 では鳥達と同居している可愛い奴です。

競走馬名	マーベラスロイヤル	父マーベラスサンデーは世界を股にかける大種牡
父	マーベラスサンデー	馬サンデーサイレンスの初年度産駒であり、GI宝
母	ロイヤルクロス	塚記念を制した名馬。また、父はデビューから引退
生涯獲得賞金	4611万1000円	まで一貫して名手武豊が手綱を取った馬でもある。
生涯成績	19戦3勝2着1回	本馬ははじめ芝コースに出走するも、なかなか思う
	障害 4 歳以上オープン	ようなレースが出来なかった。ところがダートコー
		スに転向後の3レース目、父の主戦騎手だった武豊
シャルサウ		に乗り替わり、初勝利を手にする。その後平地のレ
主な勝ち鞍		ースでは数戦して結果を残せなかったが、障害レー
		スではオープンまで勝ち上がり、引退レースとなっ
		たG II 競走では4着と好走した。

名前:勝利(しょうり)

あだ名:しょーり、かつとし

毛色/性別: 葦毛/セン

年齢:21歳

現主担当:二井岡

夏大会でのエントリー:



*勝利の取扱い

特に何も考えなくても大丈夫な、ある意味スーパーポニーです。ホースフェス、新勧活動 時は是非こき使ってやってください。勿論騎乗もできますが、ご老体に無理はさせないよ うに。はたして彼は野間馬ハイランドの仲間達を覚えているのでしょうか…

名前:清悠(せいゆう)

あだ名:せいゆう

毛色/性別: 鹿毛/セン

年齢:18歳

現主担当:佐々木

夏大会でのエントリー:

- ・学生賞典馬場
- ·L1 課目



*清悠の取扱い

かなりおとなしく、愛想のよい馬ですので、はじめて馬とふれあう人におすすめです。 しかし、自分がかわいいことを知っており、それを最大限に利用して着々と信者を増や しています。騙されないようにしましょう。毛艶は最高ですが、吸水性・保水性が大変 高く、濡らすとなかなか乾きません。冬場の手入れの際は十分な時間の余裕を持って行 いましょう。老齢のため、馬体へのいたわりが必要です。 名前:清将(せいしょう)

あだ名:ボストン

毛色/性別: 栗毛/セン

年齢:13歳

現主担当:北山

夏大会でのエントリー:

・学生賞典複合

・学生賞典障害

・トレーニング A

・小障害 A



*清将の取扱い

競馬時代も活躍したという走りには期待できますが、反抗的なので根気よくしつけましょう。最近は大分減りましたが、たまに人を噛むことがあるのでホースフェス時は隔離です。しかしイケメンゆえお客さんに人気だとか。後ろ蹴りの常習犯なので、放牧は 1 頭のみで行うこと。放牧中、馬場に出ている物を片っ端から齧るので注意してください。特にコーンを振り回すのがお気に入りの遊びのようです。

競走馬名	エイシンボストン	広大馬の中では群を抜いた競走実績を誇る。現役時代は平地レースの
父	Cat Thief	芝コースやダートコース、障害レースを1200mの短距離から39
母	Mather Miss	30mの長丁場まで多岐にわたって活躍。なかなか結果がついてこな
北 连獲復党会	1億7987万6000	い時期もあったが、あきらめることなく出走し続けた結果、障害レー
生涯獲得賞金 円		スにおいて2つの重賞タイトルを獲得した。平地のレースでも、今年
生涯成績	52戦7勝2着1回	(2015)のダービージョッキーに輝いたミルコ・デムーロを背に勝利を
		収めるなど、上々の成績を収めた。また、2009年5月23日の東
		京4Rに行われた障害オープン競走において、レコードタイムで勝利
	東京ジャンプS(J. GIII)、	を飾るも、係員のミスで距離が本来より15m短かったためにレコー
	小倉サマージャンプ(J.G)	ドが取り消されるという、前代未聞の珍事に巻き込まれている。しか
		しながら、実はこの時の走破時計なら仮に正規の距離を走行していた
		場合でもレコードタイムだった可能性が高いという。

名前:清盛(きよもり)

あだ名:ガブ

毛色/性別: 鹿毛/セン

年齢:8歳

現主担当:松永

夏大会でのエントリー:

・トレーニング B



*清盛の取扱い

この夏に広大にきたばかりの新顔です。基本はおとなしいですが、騎乗中の集中力はまだまだのようです。爪が弱く、前かきもするのでよく落鉄します。食べるのが大好きで飼付前はうるさいですが、多めにみてやりましょう。夏大会では活躍できませんでしたが、これから広大を代表する総合馬として頑張ってくれるでしょう。

競走馬名	フジキング	父エアエミネムはG I 未勝利馬で、母ラヴィールは		
父	エアエミネム	地方馬というお世辞にも良血とは言い難い血統。本		
母	ラヴィール	馬も母と同じく地方の厩舎に入厩する。浦和、船橋、		
生涯獲得賞金	1016万6000円	大井、川崎の南関東4競馬場を全て経験し、船橋以		
生涯成績	29戦5勝2着5回	外の競馬場で勝利を挙げている。最後までJRAの		
子+>咪+ 蚴	양마시(#보다)	舞台には立つことは出来ず、約2年半という競走馬		
主な勝ち鞍 	深秋特別 	時代にピリオドを打った。		

名前:清姜(せいきょう)

あだ名:キナイ、きなじろう

毛色/性別: 鹿毛/セン

年齢:7歳

現主担当:大上

夏大会でのエントリー:

・学生賞典障害

・学生賞典複合

・A4 課目

・トレーニング A

・小障害 A・B

・スラローム

*清姜の取扱い



原因不明のじんましんの出ちゃう、困ったちゃんです。原因を特定するために、観察日記をつけましょう。高い障害も落とさずに飛べるスーパーホースですが、見慣れないもの、受け入れられないものには、断固近づきません。よく馴致をするか、気合いで飛ばせましょう。最近、放牧中に馬場でねることを覚えました。

競走馬名	メイショウオオワシ	父ネオユニヴァースはミルコ・デムーロのエスコー
父	ネオユニヴァース	トで皐月賞、ダービーを制した二冠馬。母メイショ
母	メイショウヤヨイ	ウヤヨイは繁殖牝馬として重賞勝ち馬を輩出してお
生涯獲得賞金	1548万円	り、本馬はなかなかの血統である。"メイショウ○○"
生涯成績	16戦0勝2着2回	でおなじみの大馬主松本好雄氏に所有された本馬
		は、佐藤哲三騎手を背に京都競馬場でデビューする
		も6着に敗れる。その後は主に芝の長距離レースに
	do l	使われるが、無難な走りを見せるものの勝ち切るに
> 1 m/ 1 #±		は至らなかった。障害レースに転向後は1番人気に
主な勝ち鞍 	なし	支持されたこともあったが、結局は未勝利のまま引
		退の日を迎えた。なお、現在も活躍しているカレン
		ミロティックやホッコーブレーヴと僅差の競馬をし
		たこともある。

名前:清虎(きよとら)

あだ名:トラ、とらっぴ

毛色/性別: 鹿毛/セン

年齢:14歳

現主担当:松永

夏大会でのエントリー:

・学生賞典障害

・学生賞典複合

・L1 課目

・トレーニング A

・小障害 B

・スラローム

*清虎の取扱い



人一倍(馬一倍?)食いしん坊です。馬房の前を人が通ると、とりあえずエサをくれとないてみます。厩舎内が合唱になります。必ず飼い桶から乾草を食べこぼしているので、とりあえず戻してあげましょう。試合では、馬場でも障害でも成績を残せるとてもよい馬です。しかし、なぜかよく思い出したように大きなケガや病気をします。試合前は十分気をつけ、万全の状態で試合を迎えられることをみんなで祈りましょう。

競走馬名	ホウシュウムサシ	G I 秋華賞馬のブゼンキャンドルの全弟(母も父も同じ弟)に
父	モガミ	あたる優良血統。ダートの短中距離のレースを主戦場としコン
母	ブゼンスワン	スタントに賞金を稼ぐものの、クラスが上がると頭打ちに。途
生涯獲得賞金	4843万円	中約2年の休養を挟んだが、復帰後はレースに出続け、およそ
生涯成績	26戦3勝2着5回	2年半ぶりに勝利を手にする。しかし、その後は変化を求めて
		障害レースなどに出走したが、勝利を挙げることは出来なかっ
	3歳以上500万下	た。この馬の引退とともに、「ダービーを金で買おうとした」
ナか咪と 粋		ことで有名な大馬主上田清次郎が開設した上田牧場が静かに幕
主な勝ち鞍 - 		を下ろした。また、2003年12月27日の阪神3Rでの勝
		利は、鞍上の安藤勝己騎手のJRA通算300勝のメモリアル
		レースであり、記録のパートナーとしてその名は刻まれている。

名前:清熊(きよくま)

あだ名:ステラ、くま

毛色/性別: 鹿毛/セン

年齢:14歳

現主担当:黒澤

夏大会でのエントリー:

・学生賞典馬場

·L1 課目

・A3 課目

・スラローム

*清熊の取扱い



基本的にはとても扱いやすい馬ですが、装蹄が苦手です。特にうしろをあげて、我慢することが難しいようです。日々の手入れ時に特訓をしましょう。また、運動中に他の馬とすれちがうと耳をふせて怒りを表しますが、条件反射のようなのであまり気にしないようにしましょう。最近、他の馬と一緒に放牧すると他の馬を噛んでいるようです。寂しいですが、ボストン同様、一頭で放牧してください。

競走馬名	ホットテーブル	父 Anabaa は世界的名馬である。競走馬時代にGI2勝を含む6連
父	Anabaa	勝を成し遂げるだけでなく、種牡馬としても2007年、2008
母	Star des Evees	年と2年連続でフランスのリーディングサイヤー(産駒の獲得賞金
生涯獲得賞金	4482万2000円	額1位)に輝く。2009年の7月に急逝するも、GI歴代最多勝
		記録(14勝)を打ち立てたゴルディコヴァをはじめとする数々の
		名馬にその血は受け継がれている。そんな名馬を父に持つ本馬はフ
生涯成績	18戦3勝2着5回	ランスで生を受け、日本で競走生活を送った。世界を代表する名手
		オリビエ・ペリエを鞍上に据えたデビュー戦は8着という結果に終
		わったが、その後は好走を続け4戦目には後続に8馬身差をつけて
		初勝利をマーク。あの武豊を皮切りに名立たるジョッキーが騎乗し
		たこともあってか、通算で12回も1番人気に推され、しかもその
		ほとんどが大本命という人気ぶりだった。2005年6月25日の
主な勝ち鞍	3歳以上500万下	阪神競馬12Rでは武豊を背に単勝1.3倍という断然の人気に応
		え見事優勝。結果的にはこれが最後の勝利となった。なお、この競
		走において6着に敗れたのが、再び広大で相見えることとなる清将
		ことエイシンボストンであった。

部員プロフィール

名前	大上あすみ		学年	4年	学部(学科)	総合科学部		
出身地	愛媛県	担当馬	清姜、清麗		役職	なし		
趣味	おいしい	おいしいものを食べること、散歩						
好きな言葉	よく食べてよく寝る							
夢	おばあち	ゃんになっ	ても馬に乗	りたい!				

名前	川西真須	z羊	学年	4年	学部(学科)	教育学部第一類			
石削	川四共分	术天	子午	4+	子部(子科)	初等教育教員養成コース			
出身地	香川県	担当馬	清悠、	清悠、清隼 役職		なし			
趣味	動物と触	動物と触れ合うこと							
好きな言葉	笑う門に	笑う門には福来たる、明日は明日の風が吹く							
夢	たくさんあります!(^ ^)								

名前	北山大貴		学年	4年	学部(学科)	総合	科学部	
出身地	北海道	担当馬	清将		役職		なし	
趣味	厩舎の掃	厩舎の掃除						
好きな言葉	トレーニングに終わりはなし							
夢	笑顔が素顔	敵な人にな	りたい					

名前	黒澤明莉		学年	4年	学部(学科)	理学部生物科学科		
出身地	兵庫県	担当馬	清熊		役職	なし		
趣味	お昼寝	お昼寝						
好きな言葉	ありがとう							
夢	ヨーロック	パの馬文化	を見に行	ってみた	たい			

名前	住田大京	<u>.</u>	学年 4年		学部(学科)	工学部第二類		
出身地	広島県	担当馬	清隼		公心 阳单	中国・四国地区		
山 田夕地 	山田田宗	担ヨ馬	月午		役職	学生馬術連盟 会計		
趣味	気が向い	気が向いたときにやる日曜大工						
好きな言葉	失敗して	失敗しても死ぬわけじゃない						
夢	存分にニ	存分に二度寝できる生活						

名前	田原千聖		学年	4年	学部(学科)	文学部人文学科		
出身地	広島県	担当馬	清麗		役職	なし		
趣味	カラオケ							
好きな言葉	為せば成る	為せば成る 為さねば成らぬ 何事も						
夢	スーパー公務	スーパー公務員						

名前	松永赳尭		学年	4年	学动 (学科)	文学部人文学科			
一 石 則	14.17.20元	业尭 学年 4 年 学部 (学科)		倫理学専攻					
出身地	静岡県	担当馬	清虎		犯聯	中国・四国地区			
山分地	即侧乐	担ヨ尚	月况		役職	学生馬術連盟 幹事長			
趣味	読書(最	読書(最近は有川浩さんが好きです。)							
好きな言葉	着眼大局、	、着手小局	(自戒を	込めて。	,)				
曲	いつか笠	いつか笠置さんに追いつくこと							
夢	(基礎を)	大事に、謙	虚に、前	向きに生	生きること。)				

名前	佐々木やまと		学年	3年	学部 (学科)	法学部		
出身地	広島県	担当馬	清悠		役職	副主将、オガ、ボロ		
趣味	寝ること	寝ること						
好きな言葉	長い物には	長い物には巻かれる						
夢	隠居して、こ	スローライ	イフを送る	こと				

名前	藤井啓右		学年	3年	学部(学科)	工学部第四類			
出身地	広島県	担当馬	清将、清	能	役職	主将、体育会			
趣味	音楽鑑賞	音楽鑑賞							
好きな言葉	果報は寝て待っ	果報は寝て待て							
夢	鉄道に関わる国	敞に就くこ	٤						

名前	宮川慧		学年	3年	学部 (学科)	総合科学部			
出身地	北海道	担当馬	清姜、(清虎、清盛)		役職	会計、車両			
趣味	スポーツ鑑賞	スポーツ鑑賞							
好きな言葉	気迫	気迫							
夢	全日本大会で	の完走							

夕前	火公まり		当在	2左	学动(学科)	生物生産学部			
名前	米谷まり		学年 3年		学部(学科)	水産生物科学コース			
出身地	福井県	担当馬	清麗、	清隼など	役職	副主将、馬具、広報			
趣味	アクアリウ	アクアリウム							
好きな言葉	共生	共生							
夢	水族館で働	動く							

名前	二井岡友美		学年 2年 i		学部 (学科)	教育学部第一類			
石削	一升凹次 	天	学年 2年 学部(学科)		初等教育教員	員養成コース			
出身地	広島県	担当馬	清熊、	清麗、	勝利	役職	薬品・装蹄		
趣味	漫画を読	漫画を読むこと、アニメを見ること							
好きな言葉	なるよう	になる							
夢	ネコを飼]う							

<i>A</i> ± :	天野翠		│		兴切 (兴弘)	理学部			
名前			子牛	1 年	学部(学科)	地球惑星システム学科			
出身地	愛知県	担当馬	清熊		役職	なし			
趣味	バイオリン	バイオリン、読書、芸術鑑賞(絵画、演劇)、天体観測、カメラ、旅行							
好きな言葉	半ばは自己	半ばは自己の幸せを半ばは他人の幸せを							
夢	世界一周								

名前	石橋愛実		学年	1年	学部 (学科)	工学部第四類			
出身地	広島県	担当馬	清隼		役職	なし			
趣味	うさぎ(茶太	うさぎ(茶太郎)と和室で遊ぶこと							
好きな言葉	二兎追う者	二兎追う者は一兎をも得ず							
夢	何匹ものう	さぎ(もふ	もふ)に囲	まれて	幸せに暮らす	こと			

名前	岩室徳成		学年	1年	学部 (学科)	総合科学部			
出身地	京都府	担当馬	清麗		役職	なし			
趣味	旅	旅							
好きな言葉	一期一会	一期一会							
夢	のんびり生	きること							

名前	加藤大輔		学年	1年	学部 (学科)	理学部物理科学科			
出身地	神奈川県	担当馬	清姜		役職	なし			
趣味	スポーツ観	スポーツ観戦、映画鑑賞、名探偵コナン							
好きな言葉	挫折を経験	挫折を経験した事が無い者は、							
灯さる音楽	♥ 何も新しい事に挑戦したことが無いということだ								
夢	ダービー馬のオーナーになること								

名前	芹田あきほ		学年	1年	学部(学科)	医学部保健学科 看護学専攻
ᄔᅼᆄ			连松		公儿 取此	
出身地 ————	宮崎県	担当馬	清熊		役職	なし
	小旅行(電車やバスで度々一人旅をしています。夏休みに入り、					
趣味	原付を購入したので、これからはこの相棒といろいろ巡るつもりです。					
	まずは375号線を下って呉を探検したいです。)					
好きな言葉	継続は力なり(勉学も馬術部も諦めずにやり通したいです。)					
夢	47都道府県すべてをまわりたい。					
	(特に東北なんかは行ったことがないので、探検してみたいです。)					

名前	髙橋梨花		学年	1年	学部 (学科)	歯学部口腔健康科学科 口腔工学専攻
出身地	兵庫県	担当馬	清姜		役職	なし
趣味	読書					
好きな言葉	秘すれば花なり。秘せずは花なるべからず。					
夢	ヨーロッパ旅行に行きたい					

名前	藤本美加		学年	1年	学部 (学科)	生物生産学部
出身地	熊本県	担当馬	清虎		役職	なし
趣味	華道					
好きな言葉	It's piece of cake.					
夢	熊本で地元貢献をしたい					



部員のコメント(4年)

卒部を目前にして感じること

馬術部に入部してから4年が経ち、卒部が目前に迫ってきました。馬術部での活動は大変で、しんどい思いをたくさんしてきた筈なのですが、今振り返ると楽しかったことばかり思い浮かびます。初めて駈歩をした日や落馬した日、皆でご飯を食べたり遊びに行ったり・・・この場には書ききれない程の出来事がありました。失敗ばかりで悔しい思いもしましたが、それらも含めて全て自分が成長する糧になっていることを実感しています。私の馬術部での経験は、今日まで広大馬術部を支えてくださった皆さんの存在があってこそだと思います。本当にありがとうございました!今後は後輩たちが赤字で苦しむことのないよう、しっかり働いてお返ししようと思います。全日学では清麗号と一緒に学典馬場に出場しますので、最後の試合に向けて精一杯頑張りたいと思います。

応援よろしくお願いします!

(大上あすみ)

馬術部生活

馬術部生活はあっという間でした。特に4年生の時は、部活よりも優先させるべきことが多くて、部活のことはあまり覚えていません。1年生の10月という少し遅い時期から入部した私にとって、周りは先輩ばかりでした。今は、いつの間にか最上級生になりました。1年生の時から大好きだった大先輩馬の清悠も、広大馬術部を引退です。すっかりおじいちゃんになって、よくぼーっとしています。広大を去った後も、清悠らしくのんびり楽しく過ごせるように心から願っています。元気でね!

さて、部活の思い出として何か書こうと思いましたが、嬉しいことも大変だったことも、楽しいこともいやだったことも、たくさんあってひとつを選んで書くのは難しいです。私は無理をあまりせず自分にやさしい性格ですが、私が馬術部を続けられた理由は三つあると思っています。「一つ目、馬術が本当に楽しかった。二つ目、馬がとてもかわいかった。三つ目、周りの人に恵まれていた。」中途半端な時期から入部した私ですが、続けられたのは同期の部員や指導者さん方、OBさん、先輩、後輩、ホースフェスのお客さん、挙げていけばきりがないですが、人との出会いがあったのではないでしょうか。馬術を通しているいろな人や馬と知り合えて、とても充実していました。自分は幸せ者だなあと思います。来年から社会人になりますが、これからも馬と触れ合っていきたいです。ちなみに、香川県の金毘羅さんを登っているとたまに馬に会えますよ~^^

ではでは、広大馬術部がこれからもどんどん活躍していくことを楽しみにしております。

(川西真奈美)

全国の舞台で

9月に入り朝晩が少し寒く、秋の気配を肌で感じる今日この頃です。競馬が好きで、馬に乗れるようになりたいと思い入部した馬術部。入部してから現在に至るまでを振り返ると、楽しかったというよりは苦しかったという思いの方が強く込み上げてきます。これまでの試合では満足いかない結果が続き悔し思いを何度も味わってきました。また2年夏からは主将を任されるようになり、選手以外としても強いプレッシャーを感じながら日々過ごしてきました。そんな中でもここまで頑張ってきたのは「全日本学生」という大きな目標があったからです。1年秋に先輩のサポートとして同行した全日学。トップレベルの選手達のパフォーマンスを見たときの衝撃は今でも覚えています。「次に馬事公苑には選手として来よう。」あれから3年が経ち、自分にとって最後の全日本学生の舞台が待っています。コンビを組む清将は今年の春から本格的に乗り始めました。人馬共に全日学の障害・総合に初めての出場となります。不安もありますが最後まで試合に向けてしっかりと準備します。最後にこんな不器用な自分についてきてくれた仲間に心から「ありがとう」と言いたいです。頼りない主将で悪かったな。お世話になった皆に4年間の集大成を全国の舞台で見せられるように頑張ってきます。

(北山大貴)

これまでの日々を振り返って

月日が経つのは早いもので、自分が入部してから早3年が過ぎ、卒部が迫ってくるほどになりました。

私が馬術部に入部した動機は、何でも良いから新しいことを始めて、最後までやり遂げたいから、という何とも具体性の無いものでした。

この動機の元、新しいこととして"馬術"を始めましたが、その馬術の中では今でも新しいことにたくさん出会います。

それは騎乗のことであったり、世話や馬のことであったりと様々です。新しいことに出会 うと、小さくても心が逸るのが感じられます。

毎朝こうして良い体験をし、大学の講義で十分に知識と睡眠時間を得て、一日が終わる。今思うと我ながらなかなか充実した大学生活を送っています。もちろん実際には、新しいこと=良い体験、というわけでは無いし、心逸ることもなく無心な日があったり、睡眠時間しか取れなかった日もあったかもしれません。しかし、自分の周りの学生をみると、やはり充実した生活を送らせてもらっていると思います。これは馬のおかげでもあり、指導者の方やOB、OGの方々、そして先輩、同期、後輩たちのおかげだなとつくづく感じます。

・・・何だかただ自分のことを振り返る文章になってしまいましたが、とにかく、今までありがとうございました!これからもよろしくお願いします!

(黒澤明莉)

陰から支える裏方として

この度の大会で自分の馬術部生活は終わりを告げました。四年間続いた部活動がこれで終わるかと思うと少し寂しさを感じる反面、これから普通の大学生らしい自堕落な生活を送れることに期待を抑えきれない今日この頃です。

しかし、それは甘い考えでした。あくまで終わったのは選手としての馬術部生活であり、 これからは先輩として後輩を支える裏方としての馬術部生活が始まるのです。

いい加減うんざりしそうになりますが、尊敬する指導者方、それにかわいい後輩らが自分を頼ってくれるうちは、先輩として、一人の馬術部員として彼らを微力ながら支え続けていきたいと思います。

(住田大亮)

北海道中馬栗毛

~全日本学生馬術選手権・女子選手権大会~

2015年9月11日から14日まで、北海道へ行ってきました。ノーザンホースパークである全日本学生馬術選手権大会に出場するためです。人生初の北の大地は、空気がとても気持ちよく、涼しく、そして広かったです。当日は大雨が心配されましたが、それほど降らず、小雨程度に終わりました。さて、選手権はというと、私は北海道大学の北菓という馬に乗りました。北菓はアメリカ生まれの栗毛のセンで、とても力強い歩きのする馬でした。広島大学でいえば、外見はボストンに似ています。私は女子Eグループの2番手で、1番手は立教大学の経験者の方でした。その方の乗り方を見て、絶対自分には真似するのは不可能だと思ったので、今の自分にできること、元気よく前に出す、ポイントを守る、丁寧な扶助を出す、という主に3つの点に集中して乗ろうと思いました。全くハミをとれず、結果はグループで4位に終わり1回戦敗退となってしまいましたが、パーセンテージが思ったより高くて、前に乗った方のおかげもあるでしょうが、少し嬉しかったです。残念ながら、今回出場した4人とも1回戦突破とはいかなかったので、残りの日数は北海道(主に札幌、函館)を旅して時間を潰しました。主に食を巡る旅でしたが、普段食べることのない海鮮料理を食べられて幸せでした。北海道にまた降り立ってみせる、と函館空港を飛び立ちながら決意しましたとさ。めでたし、めでたし(?)。

(田原千聖)

地区幹事長を務めて

夏季大会を終え、岡山へ出向き、次期幹事長に引継ぎをしました。自分が前幹事長から引継ぎをして頂いた時のことを思い出しました。そのときはあまり幹事長という職のことについてよく理解していませんでした。もしよく理解していたら、幹事長職は引き受けていなかったかもしれません。それ程、責任がある仕事だからです。

今年の八月は、就職活動、大会運営、競技成績の三つを全て成功させる必要がありました。 運良く、就職活動と競技成績は満足いく結果を残すことができました。しかし、大会運営 としては非常に反省の残るものとなりました。ある方からは君の今大会の幹事長としての 点数をつけるとすれば 20 点という厳しい言葉も頂きました。自分でも今回の大会運営の不 手際を顧みれば、確かに 20 点と言われても仕方ないと思いましたが、それでもショックだ ったのを覚えています。

ですが、厳しい評価の後に、私がどう行動すべきだったのか、これから社会に出る上でどのようなことが大切なのか実体験を交えつつアドバイスを頂きました。その時に、このような話をして頂けることはなんと幸せなのだとブルーな気持ちから一転しました。

責任ある仕事を引き受け、実際にしっかりと仕事をこなすことは簡単なことではありません。しかし、失敗を恐れて責任ある仕事から逃げていては成長を望めません。幹事長を務めて、何故自分がこんなに苦労しなくてはいけないのかと思った時期もありましたが、やはりこの仕事を務めて得るものは大きかったと思っています。幹事長という職が私を大きく成長させてくれたと確信しています。この経験を生かし、社会にでても活躍できる人物へ成長していきたいです。

最後に、未熟者の私を大きな心で見守り支えてくださった皆様、そして叱咤激励をしてく ださった皆様に、この場を借りてお礼を申し上げます。

ありがとうございました!

(松永赳尭)

部員のコメント(1年)

馬術の世界に飛び込んで

馬術部に入部してから、半年が過ぎました。入学当初は全く馬術部に入ろうとは考えてはおらず、もしタイムマシンで入学当初の自分に馬術部に入部したことを伝えたとしたら、 当時の僕は大いに驚くことでしょう。

僕は何にでも興味を持つタイプで、まるで好奇心旺盛な子どものようだとよく言われます。 この性格もあって、今までいるいるなことにチャレンジしてきました。いろいろなことに チャレンジしたことで、多種多様な趣味を持つことができましたし、様々なことへの見識 を深めることができましたが、僕のこの性格には大きな短所があります。

それは、興味が長続きしない、ということです。僕は高校時代地学部で小惑星の研究をしていましたが、1年生の時は生物部で転卵の研究をしていましたし、2年生の後半は天文学の枠を超えて、ホタルの光を用いた会話の研究をしていました。つまり、何が言いたいかと言いますと、面白そうなものを求めてとあっちへコロコロこっちへコロコロと興味が移ってしまうため、一つのものをとことん追い詰めて取り組んだことがないのです。

そのこともあって、僕は大学へ入学したら4年間を通して一つのことをやり遂げる部活に入るうと考えていました。それがまさか馬術部だとは想像だにしませんでしたが、5日間レッスンに参加して、馬を初めて自分で動かした時、これだ!!と直感しました。もともと動物が好きだったこともありますが、鞍上で風を切る心地よさが何よりの決め手でした。この文章を書いている今、僕は馬術という世界に足を踏み入れた自分の選択は間違っていなかったと確信するとともにこの伝統ある広島大学馬術部の名に恥じないよう、日々精進していこうという決意を新たにしています。先輩方、そして指導者、OB・OGの皆様方、ご迷惑をお掛けすることも多々あると思いますが、これからどうぞよろしくお願いいたします。

(天野翠)

はじめまして

工学部第四類の石橋愛実です。

私が広島大学馬術部に興味をもったのは、大学入試の二次試験を受ける前です。入学したら入部しようと思っていたのですが、練習が早朝であることを知り、広島市内からの通学、さらに早起きが苦手な私には難しいと思い、最初は入部を諦めていました。しかし、他に入りたい部活・サークルも特になく、なら馬術部で四年間頑張ろうと覚悟を決め、入部に至りました。

精一杯頑張りますので、これからよろしくお願いします。

(石橋愛実)

※岩室徳成はフィリピン留学中のため、欠稿となります。

会遇

降りしきる雨の中で行われた入学式が、僕の馬術部への第一歩でした。競馬が好きということもあり馬術に興味はありましたが、他にもやりたいことがたくさんあったので、入学式の時点では馬術部は単なる選択肢の一つに過ぎませんでした。ところが、入学式が終わり、帰路につこうとしたその時です。数ある団体の中で僕が真っ先に勧誘を受けたのが、馬術部でした。これも何かの縁だと思い、その場で先輩と連絡先を交換し、食事にも連れて行ってもらいました。その後はトントン拍子に話が進み、結局は他の部活やサークルを見学することなく、馬術部に入部しました。でも、僕の選択は間違っていませんでした。朝早いのはちょっとつらいけど、毎日こんなに楽しく充実した日々を過ごせていますから。これも、誘って頂いた先輩達のおかげです。この機会を無駄にせず、人馬一体となって、高みを目指していきたいと思っています。

(加藤大輔)

馬術に魅せられて

はじめまして、医学部看護学専攻 1 年の芹田あきほです。宮崎県出身です。宮崎の地元で祖母が畜産を営んでおり、牛がもともと好きでした。広島大学に入学して、馬がいるのかと驚き、興味を持ったので入部した次第です。はじめは馬の世話や手入れが楽しかったのですが、最近は乗馬自体の面白さ、難しさに魅入られてきました。脚の使い方に四苦八苦しています。

入部して以来、指導者の方々や先輩の皆さん、同級生、そしてもちろん馬たちと毎日楽しく練習に励んでいます。まだまだひよっこですが、将来は尊敬する先輩方と肩を並べるくらいの実力をつけていきます。これからよろしくお願いします。

(芹田あきほ)

馬術部に入部して

初めまして。一年生の高橋です。私は従姉が馬術をしていたので、ずっと馬術をやりたいと思っていました。ようやく 10 年越しに夢が叶いました。

入った当初は、馬術部というのは馬に乗り、馬のお世話をするだけだと思っていました。 しかし実際は雑務が多く、休みの無さに驚きました。考えが甘かったです。驚いたといえ ば、離部率(?)の高さにも驚きました。 広島大学馬術部は指導者さん方がたいへん熱心で、良い環境に恵まれていると思いました。 これから先輩のように上手になれるように練習に励んでいきたいです。銀○匙にも書いて ありましたが、御馬様に乗せていただいているんだという気持ちを常に持ち、頑張ってい きます。

余談ですが、普段から指導者さん方に指導していただいているためか、馬術部員は広島大学の他のサークルと違い、独特の雰囲気があると感じています。学部の友達と話すと、「あぁ学生のサークルってこんな感じだよね普通は」あと「大学生って 1 コマ出席することが辛いと思うんだ」「こんな話題を話すんだそうだった」となります。先輩が仰った、馬術部は社会の縮図を表している、という言葉を最近は痛感しています(笑)

(高橋梨花)

一日は 24 時間ではない。32 時間である。

馬術部に入部して早5か月となりました。1年生は夏季中四国大会後より駈歩やクロス障碍の飛越練習を行っています。私は半年前の自分からは想像できないことをしているなと感じる日々です。ところで、「馬術部におる者は一日が32時間ある。」これは、6月に行われました新入部員歓迎会において、笠置総監督がおっしゃった言葉です。どういう意味かさっぱり分からない、そんなことあり得るわけがない!と私は率直に思いました。(笠置総監督すみません…)しかし、夏休みに入り、早朝5時頃に起床し部活に行く日々のなかで、私なりに笠置総監督のお言葉の意味を理解することができました。それは、馬術部で活動している時間帯に起きている大学生は少ない。したがって部活をしている時間だけ他人よりも1日の長さが長いということです。32時間は言い過ぎな気もしますが、笠置総監督が意味していたことはこういうことだと解釈しています。もし私が馬術部に入部していなかったら、昼夜逆転生活でぐうたらしていたと思います。おまけに敬語を話すことや、大学内での友人も出来なかったと思います。今は馬術や馬の世話はまだまだ半人前です。しかし、大学の4年間で最高の仲間たちと切磋琢磨し、技術だけでなく人としても大きく成長したいと思っております。もちろん、他の大学生と比べものにならないくらいに。

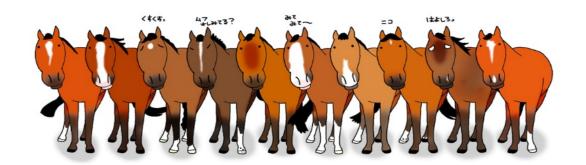
(藤本美加)

特集

馬術部主将の一日



		8 4
4:00		起床 7 6 5
5:00	7	朝食 (←大事なこと 1)
6:00		
7:00	-	部活動(一日の始まり。気合入れていきましょう)
8:00		
9:00		
10:00		買い物(3 割引か)
11:00		家事(しない日もあるかも)
12:00		昼食 (←大事なこと 2)
13:00		お昼寝(部員の8割はスケジュールに入れてるとか…)
14:00		
15:00		
16:00		自由時間(外に出かけることもあるし、家でゴロゴロすることも)
17:00		
18:00		
19:00		夕食(←大事なこと 3)
20:00		勉強(ほんとにしてるのかな?)
21:00		お茶(寝る前にコーヒー飲むなよ)
22:00		就寝(馬術部では早寝早起きは鉄則)



馬術部川柳

今年度は"馬術部あるある"をテーマに川柳を一人最低一作品、部員に作ってもらいました。 総投稿数は48作品でした。その中で優秀な作品を部員に投票してもらい、投票の結果1 4作品をご紹介させてもらいます。皆さん、共感してもらえるでしょうか?

第1位

急停止 馬は飛ばずに 人が飛ぶ (1年 岩室)

第 2 位

おいやめろ キュロットのまま 登校は(4年 北山)

第3位

夜飼まで 世話する僕らは ナイスガイ (3年 宮川)

第 4 位

朝部活 昼の講義は 子守唄(4年 住田) 新障碍 あっさり跳ばれ 苦笑い(1年 加藤)

第6位

1 コマ目 遅れはしないが 記憶なく(4年 川西)夏大会 お金も馬も とんでゆく(3年 米谷)馬術部は 「夜分」の定義が ちょい早め(1年 加藤)

第 9 位

馬と話す そんな私は 馬リンガル (1年 加藤) 5時起床 むかし早起き いま寝坊 (1年 加藤) 水濠は 馬にとっての 三途の川 (1年 石橋) 馬術部と 言っても言われる 乗馬部だっけ? (1年 藤本) 広い馬場 埋もれた蹄鉄 見つからず (4年 川西) 鞭と脚(きゃく) 舌鼓もただの 念仏か? (1年 加藤)



馬術部員にアンケートしてみました!

馬術部部員にアンケートを実施しました!かなり票が割れ、面白い結果となりました。

1, 馬術部に入って良かった事は?

馬と触れ合えること・・・4票 規則正しい生活が送れること・・・3票 馬がかわいいこと、色々な経験ができる・・・2票



~こんな意見もありました~

*ご飯がおいしくなりました。(大上)

*周囲の人に恵まれたこと。良き指導者、良きライバル、良き先輩、良き同期、良き後輩に出会えて本当に良かったです。(松永)

*たまに会う友達や家族との話のネタになる。一年生程度の知識でも、聞いている人は面白がってくれます。(芹田)

*スポーツとしても組織としても、他ではできない体験ができること。(藤井)

2, 馬術部で一番つらい事は?

早起き・・・7票

冬の作業や練習、休みが少ないこと・・・3票

~こんな意見もありました~

*朝起きること。寝坊は低血圧のせい?妖怪のせい?(松永)

*監督からの着信および長文メール。(北山)

*朝に鳴り響く着信音。(住田)

*お別れ(馬も人も)。(大上)

*体力的にも精神的にもボロ積み。(藤井)

3A, うれしかった差し入れって何?(春夏 ver.)

スポーツドリンク・・・6 票 コーヒーゼリー、スイカ・・・5 票 アイス・・・2 票 ~こんな意見もありました~

*指導者さんの奥様お手製のコーヒーゼリー。絶品でした。(芹田)

*かき氷。(藤本)

*冷たいアイスコーヒー。(藤井)

3B, うれしかった差し入れって何?(秋冬 ver.)

カップ麺・・・4票

~こんな意見もありました~

*温かい食べもの。(大上)

*厚馬衣。馬が増えて数が足りなくなったときに、とても助かりました。(松永)

*差し入れはいつ何を頂いてもすごく嬉しいです!(川西)

4、練習後に食べに行くお店と言えば?

大学の食堂・・・7票

紫峰・・・5票

ジョイフル・・・4票

けいすけ屋・・・2票

5、罰ゲームは馬のエサ。さて、何食べる?※ただし、人が普通食べないもの。

ふすま・・・10票

圧ペン・・・5票

乾草・・・2票

~こんな意見もありました~

*ふすま。甘くておいしい。(天野)

*圧ペンに牛乳をかけて食べる。(北山)

*大麦アッペン。実際に食べたら案外甘かった。(松永)

*アッペン。グラノーラに見えます。(芹田)

*うまそう雑草。(住田)。

6, 馬術部を漢字一文字で表すと?

馬・・・4票

駆・・・2票

- ~こんな意見もありました(全員)~
- *馬(川西、黒澤、二井岡、石橋)
- *駆(佐々木、加藤)
- *鍛(大上)
- *絆(北山)
- *耐(住田)
- *季(田原)
- *志(藤井)
- *働(宮川)
- *興(米谷)
- *朝(天野)
- *驫(岩室)
- *学(芹田)
- *駈(高橋)
- *家(藤本)
- *忍(松永)
- ←自戒を込めて。なかなかできることではありません。

隠忍自重…思い通りにならなくても、馬に自分の意思を押し付けてはいけません。

賢忍質直…堅実に、実直に物事に取り組まねばなりません。

堅忍不抜…目標を立てたら、強い意思の元に悲観的に準備して、

楽観的に実施しなくてはなりません。



ご挨拶

清祀会会長·総監督 笠置洋二

初秋の雰囲気が漂ってまいりましたが、会員の皆様におかれましてはお変わりなくお過ご しのことと存じます。

さて、馬術部の創始者であり発展の基礎を築かれた田部百之介名誉監督が8月29日逝去されました。残念無念の一語につきます。このことについては別稿に思いを述べます。

8月21日~23日 第29回夏季中国四国地区学生馬術大会が開催されました。

お蔭様で以下の成績を残すことができました。

総合優勝 広島大学 128 0ポイント

2位 岡山大学 43.5

3位 岡山理科大学 24.0

最優秀選手 松永 (広島大学) 最優秀馬 清麗 (広島大学)

2位 北山(広島大学) 2位 清虎(広島大学)

3位 大上(広島大学) 3位 清将(広島大学)

学生たちもよく頑張りましたし、指導陣も皆よくやりました。

春季大会も概ね同じような成績でした。

また、選手権競技でも 北山、黒澤、田原、藤井の4名が全日本学生選手権への出場権 を獲得いたしました。

このような成績を残せるようになったのも、清祀会の皆様の強力なご支援があればこそと 部員ともども感謝しています。実際、名門私立大学は別にして、清祀会のような強力な

卒業生の支援組織をもっている馬術部は少ないのではないかと思っています。

本当にありがとうございます。

また、陰になり日向になりして、指導、情報提供、心の支え、種々のアドバイスをいただいた皆様にも、厚く御礼申しあげます。

このように周囲の皆様のご支援があればこその広島大学馬術部であることを学生に伝えていくことも、私の役目であろうと肝に銘じています。

一方、現在の実力では全日本学生では通用しないことも明らかです。中国四国地区では安定した成績が残せるようになった今、全日本学生を視野に入れた部作り・馬作り・指導体制作りに軸足を移していく必要があると感じています。

とはいえ、今回の競技会では岡山大学、山口大学はプロの指導者が指導し下乗りをしていました。確かに馬は確実に良くなっていました。油断はできません。

驕ることなく足元をしっかり見つめ、着実により高い目標に向かっていきたいと思います。 今後とも、広島大学馬術部をご支援していただきますようお願いいたします。

創部60周年を迎えるにあたって

清祀会副会長 田邊豊晴

皆様、いかがお過ごしですか?

夏中四国大会で総合優勝6連覇の偉業、誠におめでとうございます。ここに到るまでの学生諸君の努力もさることながら、日々支えご指導くださいました総監督、監督、コーチの皆様に心からお礼申し上げます。

広大馬術部の創部は昭和 32 年、私は昭和 33 年の生まれでほぼ自分の年齢と馬術部の歴史が重なっていることになります。

戦後の復興期を過ぎたところで誕生し、昭和39年の東京オリンピック、昭和40年代の高度成長期、昭和48年第1次オイルショック、昭和53年の第2次オイルショック、昭和の終わりから平成にかけてのバブル経済、そして長期不況の「失われた20年」を経て現在に至っているわけですが、皆様はどの時代からご記憶があるでしょうか。

改めてこの社会情勢の変化のなかで馬術部を存続させることができた(あるいは、存続 させていただいた)ことに感慨深いものがあります。

今の学生諸君は、少子高齢化、財政問題、新興国との競争激化等、厳しい経済環境の中で生き抜かなければなりませんが、時々馬術部に顔を出して学生の顔を見ていると不思議と「この子達なら大丈夫」と思えてきます。私も彼らから勇気づけられているのです。OBの皆さんも時には広大馬術部にお越しいただき、若者の力を体感していただきたいと思います。

清祀会としても 60 周年行事を準備いたしますので、是非ともご参集くださいますようお願いいたします。

雑感

顧問 新谷信雄

2年後の馬術部創部60周年を前に時代の転換を感じる年となりました。

馬術部を創ってくださった田部百之介さんのご逝去、田部さんあってこその広大馬術部 である事を痛感し、心よりご冥福を祈ります。本当にお世話になりました。

一方、今年の夏期中四国学生大会では総合優勝を連続して勝ち取り、特に学生賞典三種目とも複数頭入賞を果たし団体得点を得て圧倒的大差での勝利でした。優秀選手、優秀馬匹も広大の独占でした。更に何年振りかで全日本でも総合馬術でのチームエントリーが可能となりました。学生選手権にも地区予選を 4 人が勝ち抜き全日本に進み(残念ながらー回戦突破はなりませんでしたが)永年の目標であった国立大学一位も手の届きそうなところに来ました。秋の自馬大会での活躍、ポイントを期待するところです。今年は 4 年生が 7

人で頑張ってくれた事がチームに勢いをつけた結果だと思います。来年以降も今年の 7 人の一年生が戦力になるよう育てていきたいものです。

広大馬術部よりちょうど 10 歳年上の私ですが、恩返しと思って微力ながらお手伝いさせていただきたいと思っています。

相談役就任のご挨拶

相談役 田部眞一郎

平成2年4月から足掛け25年に亘り広島大学体育会馬術部のコーチを拝命しておりましたが、この度コーチ職を辞し相談役に就任することになりました。コーチであった25年間の間は、サラリーマンであった平成9年3月まではもちろんの事、家業を継ぐために庄原へ戻り、その年に庄原で馬場を開設して以降も、広島大学馬術部との係りのお陰様で、自分の力だけでは得ることが出来なかった優秀馬に跨る機会を頂きました。今日に至るまで、私の馬術活動は陰に日向に広島大学馬術部の支えがあって成り立っておりましたことに対し、改めて感謝申し上げます。

相談役となりました今後は、広大馬場で部員を指導したり、部馬の調教を担当したりする機会は少なくなるものと思われます。私の馬術活動は専ら庄原馬場で自らのライフワークと捉えている馬場馬を調教する事となりますが、調教や競技、あるいは講習会などで習得した事などを若い指導者諸氏に伝えていければと思います。

コーチを辞して相談役という肩書になったから何が変わるという訳でもありませんが、 学生馬術という枠から離れた部分であっても、広島大学馬術部に対して何らかの関与がで きると思っておりますので引き続きよろしくお願いいたします。

23年前

コーチ 三笠史登

私が馬術部に入部したのは平成 4 年、今から 23 年前のことです。それまでの乗馬経験といえば、子供の頃、神戸の六甲山牧場でポニーの曳き馬に乗ったことがあるだけでした。入学後、千田町のキャンパスで勧誘のチラシをもらい、総合科学部のとある教室で行われた入部説明会に参加した後、いよいよ体験乗馬の日を迎えました。初めて大きな馬に跨り怖さはあったものの、調馬索で駈歩まで味わうことができた私はよほど楽しかったのでしょう、その日のうちに馬術部への入部を決めました。

当時、笠置さん、田部さんがそれぞれ監督、コーチとして指導にあたっておられ、現監

督の木内さんはまだ 4 年生として部に在籍中でした。上級生が下級生を指導する形態が主であり、それは今とは少し異なる点です。

時折、初老の男性が土手の中腹にどっかりと座り、馬場での練習を見つめていることがありました。言葉を発することはほとんどなく、サングラスを掛けじっと見下ろしています。そう、総監督だった田部百之介氏です。その姿には近寄りがたいオーラがあり、サングラスを通して向けられる視線がとても鋭かったのを今でも覚えています。学生時代は直接に指導を受けることはなく、お話をさせて頂く機会もほとんどありませんでしたが、卒業後、庄原の田部コーチのもとを訪ねた際にはいろいろと優しく声を掛けていただきました。

広島大学馬術部を形作った"田部イズム"は今、笠置総監督をはじめとする、いわば"田部 チルドレン"を通じて私たちへと伝えられているように思います。それらをどう表現する か?日々、馬上で悪戦苦闘しています。

創部 60 周年を迎える時、ほんの少しでも、胸を張れる成果を残していたいと思います。 最後に、私事ではありますが、このたび(ようやく…)人生の伴侶を得ることができま した。仕事に家庭にそして馬術に、ますます精進してまいりますのでどうぞよろしくお願 いいたします。

祝 最優秀馬匹清麗号

顧問 松葉 弘将

清祀会会員の皆様におかれましては、いつも手厚いご支援を頂き誠にありがとうございます。

早いもので、顧問となってから二回目の清祀の原稿を執筆する機会を頂きました。

さて、今年も皆様のご支援のおかげで、夏季中四国学生馬術大会の総合優勝を勝ち取る ことが出来ました。その中でも今回は私が主に携わらせて頂いている清麗号について書か せて頂きたいと思います。

今大会も彼女は獅子奮迅の活躍で、広島大学の総合優勝に貢献してくれました。彼女の 今大会での成績は下記の通りです。

- ・学生賞典馬場 2位・学生賞典複合 4位 ・A4馬場 2位 ・小A障害 1位
- ・小B障害 1位 ・小C障害 3位・4位 ・スラローム 10位

このように、全日本学生の権利を獲得してくれた学生賞典競技をはじめ、出場した競技ほとんど全てで入賞を果たしてくれました。この結果、最優秀馬匹争いでは2位の馬匹(こちらも広島大学の清虎号)の22ポイントに対して、36ポイントという大差をつけて見事に最優秀馬匹のタイトルの獲得となりました。

彼女の凄さは、その勝負強さと下級生・女子部員でも乗れる素直さにあると思います。 春シーズンではなかなか成績が安定せず、小Aクラスでも失権させてしまうことも多かっ たのですが、本番の夏大会では騎手を引っ張ってでもゴールしてくれた複合障害をはじめ、 その勝負強さを如何なく発揮してくれました。

来年で在厩10年となる彼女には、これまで多くの広島大学関係者の方が携わって頂いている事と思います。その皆様方に良い報告が出来るよう、全日本学生に向けて頑張っていきたいと思います。最後になりましたが、いつも私の実力不足を補って余りある調整をしてくださいます、笠置総監督、三笠コーチ、そしてこのような名馬になる初期調教を施してくださいました新谷顧問にこの場をお借りしてお礼申し上げます。今後とも、何卒よろしくお願いします。



清麗チーム(平成 27 年 8 月 23 日 於蒜山高原 RP)

繰り返し受け継がれる思い

コーチ 岡田佳那子

こんにちは。皆様、お変わりありませんでしょうか。馬術部員やコーチは夏の大会が終わり、それぞれ次の目標に向けて練習を再開しているところです。今年度は4年生が7人もいて、出場する4年生全員が学典課目(全日本学生予選)に出場するというとても素晴らしい年でした。悔しい涙もうれしい涙もいっぱいありました。私が担当させていただいている清熊号もこの夏の大会で全日本予選に出させていただきました。走り出したらなか

なか止まらない清熊号ですのでギリギリまで監督には「馬場にならないようなら種目を下げるからな」と厳しい言葉を言われていましたが、部内戦で結果を残すことができて無事に出場できるようになしました。残念ながら、全日本学生の権利は取れませんでしたが演技が終わった担当で選手だった 4 年生の黒澤さんが「悔いはありません」と言ってくれたのが印象的でした。来年こそは全日本学生の権利を取れるようにこれからしっかりと調教していこうと思います。

調教するにあたって調教日誌をつけるといいと笠置総監督に言われたことを思い出し、広島大学の体育会の馬術部のスペースにある調教日誌を探してみました。すると OB,OG の皆様の思い出の品々がたくさん出てきました。厩舎の連絡ノート、アルバム、部の運営資料、調教日誌などが昭和 40 年代のものからあります。連絡ノートには当時の皆さんが今の部員たちと同じように苦しみながらも楽しく部活動をされていたことがうかがえました。(個人的には馬術部の歌を七五調で考えてくださいと書かれていたのが出来上がったのか気になりました。)調教日誌も残っており、先月お亡くなりになった田部名誉監督の書かれた調教日誌には調教進度だけでなく学生の練習についても細かに書かれておられて大変勉強になりました。名誉監督には大学の 1 年生の時に蒜山まで一緒に乗せて行っていただいた思い出がありますが当時は何もわからず、車から見える山々や庄原についてなどを優しく穏やかに話してくださった記憶しかありません。もっといろいろなことをお聞きしておけばよかったなと今になって思います。先輩方の思い出の品を見ているといつの世代も同じようにより上手に、よりよい馬術部になるように皆さんが尽力されていたことがうかがえます。創部 60 年に向けて後輩たちもそれを引き継ぎ伝えていってくれているということに馬術部の素晴らしさを改めて感じました。

また、今回アルバムには貴重なお写真が多数ありましたが、かなり劣化が激しく、いつとったもので、どなたが写っていらっしゃるのか記述がないものが多数ありました。そこで60周年記念式典までにこれらをデータ化して保存していきたいと考えています。まだ構想段階で詳しく皆様にお伝えできませんがデータ化に伴い OB,OG の皆様に情報や現役時代の写真の提供などご協力いただけたらと思っております。よろしくお願いします。最後になりましたが次のページに何枚か写真をピックアップして載せさせていただきました。懐かしんでいただければ幸いです。

馬術部写真館

① 昭和 43 年 1 年生走行会にて どなたが写っているかお判りでしょうか。 左奥から竹並さん、新谷さん、中村さん、春成さん と記載があります。

新谷顧問、若い!春成さんのテンガロンハットが 素敵♡



③ 楽しい飲み会風景

アルバムにはたくさんの飲み会や日常風景も残っています。これはいつの写真かわかりませんが楽しくデュエットしている男性は笠置総監督です! 美しい女性と一緒で楽しそうですね②女性の方はどなたでしょか?記載がありませんでした。私ですという方はぜひお教えください!



② 第8回中国四国学生馬術大会にて 白馬にのって学生服を着ている人の顔をよく見て 下さい。三笠さん&清武号と記載してありました。 そしてお気づきの方も多いと思いますが左下の青 い服の方は木内監督です。

ちなみに今年は第29回ですので21年く

らい前の写真です!

一 05 生の萩野こころさんですね。アジア大会の時、名誉監督が「ここちゃん」と可愛がっていましたが、残念ながら途中退部となりました。 by 監督

④ 集合写真

どこで、いつとられたものか記載はあり ませんでしたが、皆さん大集合です。

平成6年、安佐南区八木から東広島市の広島大学生物生産学部内へ移転した際の記念パーティですね。皆さん、お若いですね! by 監督

とにかく部員が少なかったあの頃

コーチ 帖佐幸樹

広島大学体育会馬術部の創部 60 周年がもうそこまで来ているということで、非常にすばらしいことだと思うと同時に、そのような部に携われることを有り難く思います。

さて、現役時代から数えて、私が馬術部に関わって7年目になります。現在は馬を8頭管理しており、それを支えるだけの部員数もあり、よい環境が出来上がっていると思われます。というのも、私が現役時代の時は一時期、部員数が5人まで落ち込んだことがあり、馬の頭数も当然ながら減ってしまったときがありました。今から振り返ってみると、確かに部としては繋げることができたかもしれませんが、その分、連綿と受け継がれてきたものの幾つかは残すことが出来なかったのではないかと思われます。

その後、笠置総監督の元、国立大学 No.1 を目指しての 5 年計画が始動し、その 5 年目に当たる今年に至るわけですが、その間に部員数も増え、闘えるだけの技量を持った部員と馬がそろってきたことに深い感慨を覚えます。この流れを今後もっと盛んにしていけるように、毎年の一定数の部員の確保が求められるようになっていきます。

今年の夏季大会はとても参加者数の多い大会となりました。中四国として盛り上がるのはとても大切なことだと思います。広大馬術部もこの流れに乗っていけるよう、さらに尽力したいと思います。



夏季大会で気を吐いた帖佐コーチ(平成27年9月19日祝勝会にて)

<田部百之介名誉監督追悼特集>

平成 27 年 8 月 29 日、田部百之介名誉監督、86 歳にて永眠…

田部名誉監督を知るすべての関係者の胸に激震の走った瞬間でした。 生前のご功績に感謝の意を込めて、関係者からの思いを綴らせていただきました。

◎通夜・告別式の様子(平成 27 年 8 月 30 日、31 日)







◎弔辞

教え子数百人を代表して 謹んで弔辞を奉読させていただきます

監督 総監督 会長 名誉監督 お呼びする言葉はいろいろ変わってまいりましたが 今となってはどれもしっくりしません

先日 病院で 面会させていただいた際 面会申請書にご本人との関係を記入する欄がありました 私は自然に 弟子 と記入しました

私にとっては 師匠 とお呼びさせていただくのが 今では一番しっくりします 馬術の師であり人生の師でもあります

今でも鮮明に思い出すことがあります 私が大学四年 初めて馬の調教を手掛けることになった時 調教の初歩を教えていただくため 馬を連れて庄原に来 上野池の周囲の山の中を それぞれの馬に乗って一緒に歩いていただきました あなたの指導に私がうまく応えることができず 私のは馬が悪いのではないかなどと思い始めたとき ちょっとかしてみい とあなたが乗ると ものの十分もしないうちに馬の体勢 動きが良くなってきました 世の中にはこんな名人がいるんだとびっくりし またいつかは自分もこうなりたいと思ったものです

また 馬を走らせたい私に まともに馬を歩かせることができない人間が まともに馬を 走らせることができるわけがない といわれ 一週間ただひたすら一緒に山を歩いていた だきました

今思えば 基礎を何より大切にする田部馬術の原点を教えていただいたんですね

一週間の指導期間を終え 当時は学生の分際でトラックなどで馬を運ぶことなど考えられない時代でした 馬に乗って広島に帰るとき だいぶ遠くまで見送っていただきました心配だったんでしょうね

その途中水たまりがあり私の馬が止まるとあなたはスッと前に出て こういう時の馴致は こうするんよ と馴致のやり方教えてくださいました 私は今でもこの時教えていただい た方法を使っています

またその時 奥様は 馬の餌は持たせたが人間の食べるものは持たせなかった途中で腹が へるだろうと おにぎりを作ってバイクで追っかけてくださいました 当時の学生みんな に本当に実の子供のように接してくださいました このことは数十年たった今でも皆の心 に鮮明に残っています

私どもの会話に ときどき田部イズムという言葉が出てきます これはあなたの 決して いばらない泰然とした姿 決して卑屈にならない悠然とした姿 時間と物を決して無駄に しない真摯な姿 自分に厳しく他人に寛大な姿 このようなあなたの生き様を憧れを込め て 私たちは田部イズムと称しています でもこれほどむずかしいことはありません な かなか近づけもしません

これからも 私たちは眞一郎君とともに今までどおり広島大学馬術部にこのすばらしい田 部馬術を伝え 田部イズムを浸透させ続けてまいります どうぞ見守っていてください 私は日ごろ 私の馬術は田部馬術だ私は田部百之介の一番弟子だ と公言していますが 出会いから五十余年 この間 私がお褒めをいただいたのは一度だけです 埼玉国体の時 学生にしてはよくやった と一言だけ

何とか二度目をと思ってまいりましたが

かないませんでした 実は先日 中国四国学生馬術大会の総合優勝旗を部屋に飾ってもらおう ひょっとしたら二度目のお褒めの言葉をいただけるかもしれないと 近くまで参りましたが面会かなわず実現しませんでした 師匠のあなたは昭和三十一年の兵庫国体優勝をはじめ 数度の全日本入賞など輝かしい成績を残しておられますが わたしはこれといった実績もない不肖の弟子でした

私もいずれは彼岸にまいります

その際は また門をたたきます もう一度弟子にしてください ここにご遺族のかたの心づくしでしょう 馬具一式が用意してあります もう一度一緒に馬に乗り山を歩きながら 教えてください

この世では不肖の弟子でしたが 二度目のお褒めの言葉をいただきたく さらに精進いた します どうぞ二度目の入門をお許しください お願いいたします

平成二十七年八月三十一日

広島大学体育会馬術部 総監督 笠置洋二

◎田部名誉監督の軌跡

昭和4年1月21日 誕生

昭和 20 年 3 月 広島第一中学校 卒業 在学中に陸軍広島練兵場にて馬術訓練を

受ける。

昭和23年3月 三重高等農林(現三重大学農学部)卒業 在学中に馬術部に所属。

昭和 27 年 3 月 京都大学農学部卒業 在学中に馬術部に所属。競技馬術の基礎を

教わる。

昭和 27 年 4 月 合資会社田部農場 役員に就任 家業の傍ら馬術競技選手として

活動開始。

昭和31年11月 兵庫国体総合馬術競技で優勝。

昭和32年6月 広島大学馬術部創部、監督へ就任。

昭和64年1月 広島大学馬術部総監督へ就任。

平成 18 年 9 月 広島大学馬術部名誉監督へ就任。

平成 27 年 8 月 29 日 永眠

西日本学生馬術連盟会長 中国四国学生馬術連盟初代会長 全日本学生馬術連盟副会長、広島県馬術連盟会長などを歴任。



田部名誉監督を囲む会にて(平成24年4月7日)

◎ご逝去の報に接し、多くの関係者から届いた感謝と思い出のメッセージ

・景政終身顧問(昭和36年卒部)

『故田部名誉監督との出会い』

教養学部掲示板に馬術部を広大に創りたいという記載があり、昭和 32 年 6 月 22 日(土) 乗馬クラブ会合、という私の日記にある当日、広島県馬連の重鎮と一緒に大学本部の一室でお会いしたのが初対面、そして部の創立を島田先輩他で行い広島乗馬クラブで田部氏に馬の正式な乗り方を教授していただいた。翌年 3 月、学部の畜産試験場への視察旅行が山陰方面であり、松江より帰る途中、庄原で降りて田部農場に参上した。昭和 33 年 3 月 22 日(土)、初めて本格的に調教された馬(清祀号)に乗り、反動の大きいのに困った記憶がある。そして昭和 34 年 10 月 26 日より始まる第 14 回国体東京大会に中障害に出場できる程に鍛えてもらった。この時勿論、清祀号による初陣だった。

以後、社会に出て 55 年、御指導を受けるは人生全般に及び、この間の御厚情は筆舌にはつくせませんが、今只々御冥福を祈るばかりでございます。 合掌

・田邊副会長(昭和56年卒部)

『田部名誉監督への追悼文』

8月29日午前、木内監督より田部名誉監督逝去の一報が入ったとき、「しまった!」との思いが頭を過ぎりました。入院加療をされていることは聞き及んでおりましたがお見舞いにも伺わずにいたことを後悔した次第です。

私が馬術部に在籍していた昭和 52 年~55 年は、総監督はお仕事も多忙であり、また体調を崩されたりして馬術部の指導があまりできない時期であったように思います。誠に残念ながら総監督に指導いただいた練習は片手で数えられるくらいしか記憶に残っておりません。けれども、名誉監督が調教された「清流」が残っており練習で騎乗させていただきました。おそらく広大馬術部で名誉監督が調教された馬に乗ることができた最後の世代だと思います。当時の所属馬で踏歩変換ができた馬は、この「清流」と笠置総監督が調教された「清翠」の二頭だけだったように思います。

名誉監督から指導いただいたことで記憶に残っているのは、『君達が馬術部で活動できるのは周囲の支援があるからで、決して君達だけの力ではない。常に支えてくださる方に感謝しなさい。』と常々言われておりました。現在、私はサラリーマン生活の終盤に近くなっておりますが、まさにこの言葉をかみしめているところです。

また、私は平成 12 年より 5 年間庄原に勤務いたしました。このとき名誉監督、眞一郎 さんのご好意により田部農場の馬場で出勤前に馬に乗らせていただき、大変楽しい単身赴

任を経験させていただきました。改めて御礼申し上げます。

最後になりますが、田部名誉監督が創ってくださった「広島大学馬術部」が、より良く、より強くなるよう一 OB として尽力することをお誓いして追悼の言葉といたします。 合

・上原関東支部長(昭和50年卒部)

『田部百之介名誉監督を偲んで』

昨年より清祀会関東支部長を拝命しました上原です。この一年余り、父母の介護のため 頻繁に東広島に帰っておりますが、厩舎には寄れておりません。

気を抜けない中にも少し落ち着いた遠距離老々介護になりましたので、今年は全日本学生の応援に行くぞと関東在住の皆様へのお誘いの手紙を準備している最中の突然の訃報でした。しばらく手が止まり呆然自失の状況でしたが、気を取り直してお手紙を発送しました。

今年の全日本学生への 3 種目出場権利獲得を知り、現役、指導陣の地道な努力により国立 大のトップへ近づいている実感を持っているところです。

私の現役時代は田部監督、景政会長、笠置コーチ、新谷コーチ、藤本コーチ、先輩方々の強力な指導により可部の河川敷の馬場で練習しておりました。

やはり何と言っても田部監督の脚と拳は雲の上の存在でした。理解できなかったと言った ほうが正しいかもしれません。とにかく、脚、脚、脚!と指揮を受け、拳はあるところか らは絶対に譲るなと指導を受けておりましたが、勿論自分にはできませんでした。未だに 弱い脚、長手綱のアマチュア乗馬になっております。

ある時、庄原のご自宅に泊まらせていただいた折に、ドイツからの研修生もいらっしゃる中で夕食を一緒にいただいたことがあります。英語が喋れず苦労しましたが、田部監督から「文法を気にした頭で考える英語じゃーダメだ。会話ができることが大事だ」と教えていただきました。会社生活に入り海外出張が増えてきて、その教訓を思い出しながら出張をしたことを思い出します。

未だに中途半端な英語力ですが、グローバルな医療機器の設計に携われているのも庄原で の経験のおかげかもしれません。

数年前の年賀状に「乗れるときに乗っておきなさい」と書いてありました。50 代後半に リストラの嵐に飲み込まれていたときの私にはこの上ない励ましのお言葉でした。お蔭様 で、夫婦で乗馬を続けながらリストラを克服して現在に至ります。

総合馬術競技のような人生への耐久力と知恵を与えていただいた田部監督への感謝の気持ちで一杯です。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

・塩口さん (昭和4]年卒部)

『田部百之介名誉監督を偲ぶ「七塚原種畜場合宿」』

私達の時代は東雲分校で田部監督(以下、当時)さんから寄贈された「春峰」と他2頭で「馬術部」と云うよりも朝夕の飼料用草刈りに追われ「馬飼育部」の態様で、田部監督が庄原から仕事で来広された時々に指導して頂いていた。その間は、馬術に関して上級生が後輩に主に部班運動で経験指導する状況で、田部さんは私達を歯がゆい思いで見ておられた事です。

私が4年(学部)に上がる時に田部監督から庄原付近の「七塚原種畜場」(現在は無い?)での春合宿を提案された。そこでは、田部監督は合宿場から勤務先の信用金庫に出勤し夕方には合宿場に戻り、寝泊まりで朝晩に指導されるとの由。馬匹は広大保有が3頭、田部監督が調教中の1頭の計4頭で合宿を実施する事が決定した。当時は馬運搬車などないので大学から「七塚原種畜場」まで1泊2日で部員実家に宿をとり、自動車道を乗馬しながら移動した。地図を持たずに道を尋ねながらの道中で、七塚原に2日目の夜遅く到着し田部監督に厳しく叱られ思い出がある。

合宿生活は研修センター宿泊拠点で自炊し、毎朝に搾られたばかりの新鮮な牛乳を主体にしたメニューで、当時の私たちのライフスタイルから考えられない贅沢な食事の合宿でした。

田部監督の指導内容は、早朝は乗馬による実地訓練、午後は部員だけでの乗馬練習。夜は 2~3 時間程度の「馬学」講義。内容は田部監督の大学時代の教科書(ドイツ語)を基に 馬体構造・骨格・血種・病気・歯による年齢判断、等。

後で知ったのですが「七塚原」は桜の名所、ちょうど合宿時期は春休みだったので満開の桜の下での練習と合間の休憩でした。田部監督さんはそれも織り込まれたのか、今、50年前を思い出しても私にとっては楽しかった合宿がよみがえります。その間、田部監督さん及びご家族様には大変ご苦労をお掛けしたことを改めてお詫びと感謝申しあげます。

(余談ですが、この原稿を作成しながら「あの時の合宿費用の一部を田部監督が負担されたのではないかな?私達が全て払った記憶がない」と今になって気になってきました。) 田部百之介様のご冥福をお祈りしつつ。 合掌

・佐竹さん(昭和 43 年卒部)

『褒められたこと』

謹んでお悔やみ申し上げます。

昨年 6 月 14 日、出張の帰りに福山で妻と落ち合って、うんと遠回りをして田部邸へお 伺いしました。ご長男眞一郎くんに支えられながら、奥様と一緒に応接室で名誉監督にお 目にかかりました。その 2 年前にあった「励ます会」の時よりも少し弱々しくなっておられたようですが、こちらの話に時々うなずきながら、ご自分でゆっくりとケーキをほおばる姿が印象的でした。「また伺いますから」と申し上げて失礼しましたが、それが生前の最後のお姿となりました。うんと遠回りをして良かったと、今思っています。

さて、お子たちが小さかった頃からいろいろご指導いただき思い出は尽きませんが、卒部後のことを一つだけご紹介します。告別式で笠置総監督が「師匠」(田部名誉監督)に褒められたのは1度だけ(埼玉国体の際)だ、と述べました。実は私も1度だけ褒められたことがあります。といっても馬術のことではなく、馬術部の『創立二十五周年記念誌』(昭和61年発行)のことです。その前半の「栄光の歴史」の部では、田部名誉監督からいただいた部の通史とも言えるたくさんの原稿を柱にして、笠置総監督をはじめ関係者から集めた資料や原稿でその通史を実証するような形のものに編集しました。しかし仕事などでなかなか時間がとれなかったこともあって、足かけ6年もかかってしまいました。それでも、記念誌が名誉監督のお手元に届いた後のある日、わざわざお電話があり、「佐竹、ようやった。」とのお言葉をいただきました。いっぺんに苦労が報われました。

闘病生活が長かったようですが、これからは安らかにお眠り下さい。また、ご家族の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。 合掌

・藤本さん(昭和46年卒部)

『切り開け!新時代』

私たちの産みの親、田部百之介さんという人は不思議な人だった。

大変なシブチンでケチン坊であったことは私たちだけでなく、学馬連内部でも敬愛をもって広く知れ渡っていたが、それでいて無類に面倒見の良い人だった。広大に馬術部を立ち上げ広島県馬連も近隣県に先立って樹立したことや、ご夫婦で豚の肉を大量に持参して私たちの胃袋を満足させてくれたなどはそのエピソードのひとつですが、その相反するキャラクターに何とも言えない魅力を感じたものだ。

私たちが誕生して約70年、一つの大きな時代が終わりました。

黎明期では百之介さんの馬術が旧陸軍の影響を何かと受けて装備もひどく粗悪なもので、 今では鞍といえば欧州産だが当時舶来の鞍は大変珍しかった。

その百之介さんの時代が約 40 年続いて笠置総監督が 2 代目として引き継いだ。ワシの言うようにやれ、というのがこの人の特徴だがいかにもアナログ的なところは時代の特徴ともいえるからそれも愛嬌と言える。

そして今ジャンプアップしようとしている新しい時代!

この時に合わせたかのように夏の試合では3種目とも全日本の出場権を得た。約70年の

歴史の中でも極めて珍しい好成績である。これに合わせて景政先輩を東京にお迎えして盛り上がろうと東京支部が個々の集まりから組織としての集まりに変わろうと動きだした。 この盛り上がりの中で我らは突然シンボルを失った。

しかし広大馬術部の心の故郷は庄原であることには今後も変わりはない。具合の良いことにご子息の眞一郎さんも馬術の魅力に取りつかれている一人だ。この人を中心にしてもう一度立て直しを図るのが自然の流れというものだろう。

しかし来たる新時代は、これまでのように"ワシの言うようにやれ"とかいう単純で粗暴な指導方法であってはならない。PC文化が爆発的に進歩して今や地元も東京も地域に関係なく情報を即時に共有でき、動画の配信も気軽にできるから馬の運動についても共通の理解が得やすい。部の運営を一部の役職者が閉鎖的に切り回すのではなく、興味のある人が互いに大いに意見交換をして十分意思の疎通を図りながら広大馬術部の進むべき方向性をみんなでつかみ取って、更に更に高みを目指して盛り上がろうではないか。

産みの親を失った悲しみは計り知れないものがあるが、それでも86歳までの長寿を全うしてもらったことは悲しみの中でも救われるものがある。そんなにもお世話になり敬愛しながらも60、70、80歳の各節目のお祝いを一つもして差し上げなかったのは、いくつになっても後悔は先に立ってくれるものではないことを改めて実感するこの頃です。お元気な間にも少し親孝行をしておけばよかった。

◎広島大学馬術部創部 50 周年記念誌より抜粋

広島大学馬術部の、創部50周年、おめでとうございます。

部を今日まで存続させてこられたOB及び現役の皆さんの大変なご努力に敬意を表したいと思います。部の発足以後4分の1世紀の歴史につきましては、昭和61年(1986年)に創部25周年誌を発行され、詳しく載っておりますので、機会あればご覧ください。当時編集に当たられた景政・笠置・佐竹・宇根等の諸先輩のご尽力によるものでした。彼等は既にご年配になられますが、ご健在です。創部以後、現役諸君がいかに苦労されたか25周年誌を見ればよく分かります。

今回その後の4分の1世紀の記録が出来上がりました。相変わらず運営の苦しさは変わりませんが、広島大学の東広島市への移転という大事業があり、それに便乗し自前の厩舎・馬場を持つべく大運動をし、大学移転の最終段階ともいえる時期に我が部は一大事業の成就を見ました。

しかし現実は相変わらずで、コーチ陣が馬の調教維持に努め部員の努力により部を支えて おります。 戦後60年を迎えるいま、社会情勢は安定し、馬術界は昔とは全く違ってきました。外産 馬により馬の資質は極めて高度になっておりますし、学生馬術は一部の私大を中心に技術 は洗練され、地方大学は全く歯がたたぬ状況になりつつあります。一方広大は、部員構成 が変わってきており毎年女子の入部が多く、男子が劣勢で残念なことです。

我々は、全日本学馬連の中にあって最初は西日本地区に属していましたが、私が会長となって20年後、永年の念願であった中四国地区の分離独立を果たし、23年間勤めた会長の席を岡山大学の岡崎さんに譲りました。

我が部は中四国地区総合優勝を果たし、2度目の3連覇を成し遂げました。7年間に6度の優勝は大成果でおめでたいことです。しかし、いつまでも総合優勝できるかどうか予想不能で次年度はどうなるか分かりません。

私は次の周年誌までの存命は恐らく不可能ですが、部は永遠に存続する事を願い巻頭の言葉とします。

田部 百之介

田部名誉監督、どうぞこれからも私たちの活動を見守っていてください。



庄原馬場にて清史郎号と(平成19年4月)

く清祀会コラム>

馬事問風

終身顧問 景政崇彦

今年も勇壮なる相馬の馬追をテレビで見た。地方でこんな行事ができるのはここだけである。

そもそも神社と馬との関係について問うと、「風土記」に山城園賀茂社という訳があり、 可茂の社(京都市の賀茂御祖神社=下鴨神社)と書いてある。そして又、その祭祀の日に馬 に乗ることが始まったという。

訳は天の下、全国で風吹き雨降りが多く、百姓が愁う。卜部が卜ったところ、賀茂の社の 祟りなりと。よって、4月の吉日を選んで祀るに、馬は鈴を懸け人は猪の頭を蒙りて駈馳さ せて祭祀をなしたら、五穀成就し天の下豊平なりきと。

馬に乗ることここに始まれり、「乗、馬始、千此、也」

さて、我々の清祀会の清祀号の名は、故田部百之介氏の御尊父華吉氏が命名したのだと申された事を思い出した。私は最晩年の御尊父が和服で杖をついて農場に来られたのを記憶している。

さて、大学のある東広島市は賀茂郡という所にあり、賀茂の社も西条の東の方面にあるようである。

従って、全国的に神社には「馬」という関係が出来たとさ。

会計報告

<収入の部>



合計	¥5,008,896
部バイト	¥240,000
部費	¥1,169,000
その他入	¥1,194,496
援助・補助	¥2,405,400

<支出の部>



飼料	¥1,617,879
装蹄	¥1,213,808
その他出	¥546,569
車輌関係	¥387,463
診療費	¥351,070
大会経費	¥198,958
登録関係	¥165,932
馬具	¥138,224
諸費	¥206,834
合計	¥4,826,737

※諸費内訳

歯研磨(¥80,000) 敷料(¥43,000) 予防注射(¥34,020) 部誌作製費(¥34,017) 薬品(¥15,597) 勧誘(¥200) 新馬購入(¥0)

現在会計を務めます3年の宮川です。

今回は平成26年度の馬術部会計報告とともに馬術部の会計状況について簡単に説明させていただきます。

毎年のことながら、平成26年度も厳しい状況下での運営となりました。左のグラフのとおり支出の6割ほどは飼料代と装蹄代で占められています。収入に関しては約半分が援助補助金となっています。その他の収入としては、定期的に開催する体験乗馬会での売り上げや大会等での借馬料、イベントなどでの売り上げや報酬です。毎月部員から集める部費もある程度の金額にはなるものの、その月の装蹄代として消えてしまうのが実情です。また、飼料の高騰や全日本学生を念頭に置いたトレーニング遠征など結果を残すためには削ることのできない部分での支出が多いのも現状です。しかしながら、今日も国立大学ナンバーワンを目指し練習に取り組めるのは OB・OG のみなさま、指導者のみなさまのご支援のおかげであると思います。これからも皆様のご期待に沿えるように、日々努力していきたいと思いますので、何卒ご支援いただきますようよろしくお願い申し上げます。

編集後記

みなさんこんにちは。今回編集を担当させていただきました、天野です。

今回は Cavallo では、広大の馬が現役時代どんな活躍をしていたかを調べてみたり、馬術部川柳やアンケートをしてみたりと様々な新たな試みをしてみました。楽しんでいただけたでしょうか?楽しんでいただけたようでしたら、編集者として冥利に尽きます。

今回この部誌を作製していく中で様々な発見がありました。特にボストンとステラが現役時代に同じレースで走っていて、武豊を乗せたステラが見事勝利。そしてそれがステラ現役時代最後の勝利となった…という話は、印象深く残っています。現役時代に競い合った二頭の馬がまた広島大学馬術部という場所で再会することになるなんて、なんだか不思議な巡り合わせのようなものを感じてしまいます。(詳しくはステラの馬プロフィールの項目をご覧ください)私事ではありますが、私が馬術部に入ったのも今思えば不思議な巡り合わせです。この不思議な巡り合わせを、これからも大切にしていきたいものです。

最後になりましたが、この部誌は原稿を出してくれた部員の皆さん、そしていろいろなアドバイスを下さった先輩並びに指導者の皆さま方の存在がなければ陽の目を見ることはありませんでした。ここに感謝の意を表し、筆を擱かせていただこうと思います。

最後までお読みくださり、ありがとうございました。